

博物館明治村館長
中川武 先生 講演会

なぜ世界建築史か

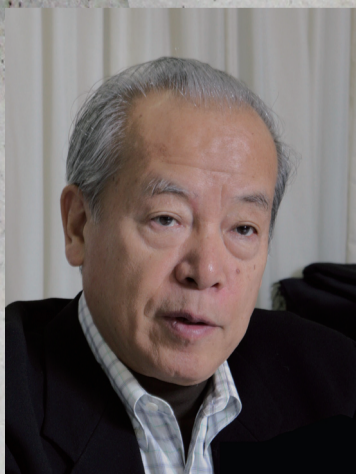
— 建築史研究の到達点と課題

古代から近現代にかけて、そして日本からアジア、西洋にわたる建築の歴史を広く視野に収め、各地の現地調査とアジアの世界遺産修復事業を経て、40余年にわたって蓄積されてきた中川武先生の建築史学について、その学問的構想、研究の成果および到達点、今後の研究課題などについてお話をいただきます。

詳細▷ <http://tokai.aij.or.jp/>

7月25日(土)
14:00~15:30 (13:30 開場)

名城大学 天白キャンパス 共通講義棟北 3階 301 教室



中川 武 (建築史家)
1944年富山県生まれ。博物館明治村館長。元早稲田大学理工学術院教授。工学博士。40年以上にわたり、比較建築史、文化財建造物の保存修復技術などの研究を行う。エジプト・ミニピラミッド建設実験に参加以来、アジアの古代建築の調査を継続。1994年より日本国政府アンコール遺跡救済チーム団長。2011年より早稲田大学東日本大震災復興研究拠点・自然文化安全都市研究所所長。主な著書に、『建築様式の歴史と表現』、『日本の家』など。



名称：中川武 先生 講演会
日時：2015年7月25日(土)
14:00~15:30 (開場 13:30)
参加費：無料
定員：約150名(申込不要、先着順)
開場：名城大学共通講義棟北 N301
アクセス：名古屋市営地下鉄
鶴舞線塩釜口下車
1番出口より徒歩5分

日本建築学会東海支部主催